

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

特別会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	包括的支援事業（生活支援コーディネーター配置事業）				事業番号	011-265
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援	課

I. 基本情報

事業の位置付け											
1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉～Well-being～	施策 (3)市民の参加と協働による地域福祉の充実					
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	③多様な居場所や地域福祉活動への支援						
		有・無	指標名	様々な人や団体の参画により活性化された地域福祉活動の件数							
	堺市SDGs 未来都市 計画	有・無	現状値	180件(2019年度)	目標値	340件(2025年度)					
		有・無	ゴール	—	ターゲット	—					
		無	取組	—							
		有・無	指標名	—							
		無	現状値	—	目標値	—					
2	関連計画	第4次地域福祉計画、堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6年（2024）～8（2026）年度）									
3	事業開始年度	平成 27 年度		終了（予定）年度	令和 7 年度						
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	介護保険法									
事業の概要											
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁									
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	65歳以上の高齢者			対象数	単位					
					約23	万人					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	介護保険法第115条の45第2項第5号に定められる生活支援体制整備事業として、単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、社会福祉法人等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的としている。									
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>堺市社会福祉協議会に委託の上、次の①から⑤までの業務を通じて、NPO、民間企業、社会福祉法人等多様な地域資源を活用しながら生活支援や介護予防に係るサービスの基盤整備を行っている。</p> <p>① 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起 ② 地域組織等多様な主体への全市的な協力依頼などの働きかけ ③ 関係者のネットワークづくり ④ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発 ⑤ 研修の企画及び開催</p> <p>平成28年度 中区においてコーディネーターをモデル配置 平成29年度 中区・南区において日常生活圏域ごとにコーディネーターを配置 平成30年度 東区・堺区に配置拡充 令和元年度 北区に配置拡充 令和2年度 西区・美原区へ配置拡充 令和6年度 全ての日常生活圏域に1名ずつ配置</p> <p>※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載</p>									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	社会福祉法人堺市社会福祉協議会									
10	公民連携・協働事業										
II. 事業目的の達成状況											
事業の成果や活動実績の測定											
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	目標	目標 終了（予定）年度					
	地域課題の解決や資源創出に関する プロジェクト数	件	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
			目標値	245	245	245					
			実績値	214	395						
12	当該指標を選定した理由	高齢者の社会参加の促進に向けた取組の数であり、本事業の目的に寄与するものであるため。									
	目標値の設定根拠・算出方法	地域課題の解決や資源創出に向けた、関係団体や活動主体者の調整・企画立案数。配置区数×35件									
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	目標						
12	生活支援コーディネーター（第2層） 配置人数	人	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
			目標値	22	22	22					
			実績値	20	20						
	当該指標を選定した理由	既存活動の活性化やサービス開発を担うコーディネーター配置人数を増やすことが、プロジェクト数の増に寄与するため。									
	目標値の設定根拠・算出方法	日常生活圏域に1名の配置を目標としている									

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	目標	目標 終了（予定）年度
	地域課題の解決や資源創出に関する プロジェクト数	件	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	245	245	245
12	当該指標を選定した理由	高齢者の社会参加の促進に向けた取組の数であり、本事業の目的に寄与するものであるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	地域課題の解決や資源創出に向けた、関係団体や活動主体者の調整・企画立案数。配置区数×35件				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	目標	
12	生活支援コーディネーター（第2層） 配置人数	人	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	22	22	22
			実績値	20	20	
	当該指標を選定した理由	既存活動の活性化やサービス開発を担うコーディネーター配置人数を増やすことが、プロジェクト数の増に寄与するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	日常生活圏域に1名の配置を目標としている				

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	包括的支援事業（生活支援コーディネーター配置事業）	事業番号	011-265
-------	---------------------------	------	---------

III. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

13 財 源 内 訳	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	120,980	114,139	113,541	113,541	121,436
国支出金	46,577	43,943	43,713	43,713	46,752	
府支出金	23,288	21,971	21,856	21,856	23,377	
市債	0	0	0	0	0	
その他 (被保険者保険料)	27,825	26,251	26,114	26,114	27,930	
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0	
一般財源	23,290	21,974	21,858	21,858	23,377	
人件費 (b)	0	0	0	0	0	
年間経費(c)=(a)+(b)	120,980	114,139	113,541	113,541	121,436	

事業費の内訳

(単位：千円)

16 事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	決算	113,541	21,858		R5	決算		
		R6	予算	121,436	23,377		R6	予算		
生活支援コーディネーター配置業務	R5 決算					R5 決算				
委託料	R6 予算					R6 予算				
	R5 決算					R5 決算				
	R6 予算					R6 予算				
	R5 決算					R5 決算				
	R6 予算					R6 予算				
	R5 決算					R5 決算				
	R6 予算					R6 予算				
	R5 決算					R5 決算				
	R6 予算					R6 予算				

IV. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区分	単位		令和4年度	令和5年度	
		①	プロジェクト数	件	214	395
		②	上記①にかかる年間経費	千円	114,139	113,541
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		533,360	287,446	
	備考（算出についての説明等）					

V. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和4年度に比べ、令和5年度のプロジェクト数は大幅に増加した。令和4年度以前にプロジェクトの支援で関わった地域や活動を再開した地域に対する継続支援、活動の活性化に向けた支援など、生活支援コーディネーターは幅広く活動し、高齢者の社会参加のきっかけづくりに貢献した。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	高齢者に多様な暮らし方の選択肢を提供し社会参加を促進するため、アクティブシニアなどが活動者となる支え合い活動を創出・活性化し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加を推進した。このことから、本事業は、基本計画等の取組の方向性に合致するものである。